

令和5年度黎明館教職員講座開催要項

1 目的

学校教育における児童・生徒の教科学習や郷土学習等を支援するため、学芸専門員等による常設展示の解説等を通して、鹿児島県の歴史と文化について理解を深めるとともに、学校教育における黎明館の活用について、教職員と黎明館職員の連携を育む機会とする。

2 講座の内容

- (1) 黎明館の概要と学校教育での利用(免除申請、展示案内制度等)について
- (2) 黎明館の常設展示や展示資料についての解説、体験学習室の利用体験
- (3) 御楼門の見学・解説を通して、鹿児島城について学ぶ。
- (4) ワークショップを通して、郷土の資料の学校教育での活用について考える。

3 日時

令和5年8月3日(木) 9:30～15:55
令和5年8月4日(金) 9:00～16:00

4 会場

黎明館講座室、常設展示及び御楼門

5 受講対象者及び人数

県内の小・中・高等学校教職員・特別支援学校教職員 20名程度

※ 原則として各学校2名以内、2日間とも参加できる方を募集します。

※ 受講者決定は、申込みの受付順(但し、令和4年度までの「エンジョイ黎明館」を含めて初めて受講する方を優先)

6 受講料

無料

7 受講申込

- (1) 申込先 鹿児島県歴史・美術センター黎明館
学芸課 教職員講座係 藤崎公晴
電話：099-222-5396 / E-mail:gakugei@pref.kagoshima.lg.jp
- (2) 申込方法 メール(別紙記載の必要事項を御記入の上、お申し込みください。)
- (3) 申込期間 令和5年6月6日(火)～6月29日(木)

8 事前課題

- (1) 課題 受講者決定者は、①、②のいずれかを選択し、レポートを提出してください。
 - ① 教科学習や郷土学習に関連させ、校区や地域の史跡やゆかりの人物について1つを取り上げ、レポート(A4用紙1枚程度)にまとめる。
 - ② 学校における郷土学習の取組について、その概要、成果と課題をレポート(A4用紙1枚程度)にまとめる。※ ①、②ともに別紙を参考にまとめてください。参考となる写真を必ず1枚入れること。ただし、写真は肖像権に配慮し、参加者に紙媒体で配布可能なものを用意すること。
- (2) 提出方法 メール添付にてPDFファイル形式に変換したレポートを提出してください。
提出先のメールアドレス：gakugei@pref.kagoshima.lg.jp
※ 提出するファイル全体の容量(写真を含む)は、500KB以下とすること。

(3) 提出期限 7月20日(木)

9 当日の日程

令和5年8月3日(木)

- 9:30～9:45 (15) 開講式
・挨拶
・職員紹介, オリエンテーション
- 9:45～10:10 (25) 黎明館の概要と学校教育での利用
〔10:10～10:20〕 休息
- 10:20～11:00 (40) バックヤード見学, 体験学習室の利用体験 (2班に)
〔11:00～11:10〕 休息・移動
- 11:10～12:00 (50) 先史・古代の鹿児島
〔12:00～13:00〕 昼食・休憩
- 13:00～13:50 (50) 中世の鹿児島
〔13:50～14:00〕 休息
- 14:00～14:50 (50) 近世の鹿児島
〔14:50～15:00〕 休息
- 15:00～15:50 (50) 企画展解説・見学
- 15:50～15:55 (5) 諸連絡

令和5年8月4日(金)

- 9:00～9:50 (50) 御楼門・鹿児島城の見学・解説
※ 荒天時は, ワークショップの時間へ変更します。
〔9:50～10:10〕 休息
- 10:10～11:00 (50) くずし字(古文書)を学ぼう
〔11:00～11:10〕 休息
- 11:10～12:00 (50) 幕末・維新～近・現代の鹿児島
〔12:00～13:00〕 昼食・休憩
- 13:00～13:50 (50) 鹿児島の民俗
〔13:50～14:00〕 休息
- 14:00～14:50 (50) 鹿児島の美術・工芸
〔14:50～15:00〕 休息
- 15:00～15:50 (50) ワークショップ
「郷土の資料を授業に活かそう」
- 15:50～16:00 (10) 閉講式
・挨拶
・アンケートの記入

10 その他

昼食は弁当持参, もしくは館内レストラン(城山シーズニング)等を御利用ください。
弁当持参の場合, 昼食場所は講座室になります。

11 注意事項

感染症拡大, 台風接近・災害発生などの天候不良により本講座を中止することもありますので, 予め御了承ください。